

「ISIJ International」投稿規程

ISIJ International は、月刊で出版される日本鉄鋼協会の論文誌であり、広く国内外の会員、非会員からタイムリーでオリジナルな投稿を受け付けている。

1. 原稿の内容:

本論文誌は、鉄鋼および関連材料の製精錬、プロセス、性質、分析、環境問題などの科学・技術全般に関して発表し、議論するための媒体である。

「鉄と鋼」、「ISIJ International」の両誌掲載以前に公開刊行物に発表される可能性がなく、オリジナリティのあるものに限る。本会発行の「材料とプロセス」に関する重複度の高い場合には、オリジナリティが喪失していると判断する。

「鉄と鋼」または「ISIJ International」に掲載された原稿（論文およびレビュー）は、その発行日から1年以内に限り相互に転載のための投稿を認める。ただし、依論文賞、ギマラエス賞受賞論文は、受賞決定日（受賞式実施日）から1年以内、また特集号掲載論文については、その発行日から1年6ヶ月以内の投稿に限り相互に転載を認める。投稿時に「鉄と鋼」から「ISIJ International」への転載であることを原稿のタイトルページに明記するとともに、電子投稿画面の所定欄（Statement of Prior Disclosure）に入力する。転載原稿は、原原稿と同一原稿として扱い、タイトル、著者、著者の記載順、および記述内容の変更と見なされる図表の変更などは認めない。ただし、審査の結果、修正、返却もありうる。

2. 原稿の種類:

(1) 論文／Regular article（刷り上がり10頁以内）:

鉄鋼工学、材料学、製造技術、設備技術及び鉄鋼および関連材料の利用技術に関する学術ないし技術上の成果を記述し、その内容の客観性を論証したオリジナルなもので、記述された情報に基づいて主要結果が再現可能なもの。

(2) レビュー／Review article:

一つのテーマについて、既発表の情報を総合的に集録・紹介したもの。論文誌編集委員会からの依頼を原則とするが、著者の自主投稿も可能である。

(3) 寄書／Note（刷り上がり3頁以内）:

- 速報価値のある発見や成果を要領よくまとめたもの、
- 新しい研究や技術を簡明に紹介したもの、
- 読者に興味のあるトピックス、意見、提案を述べたもの、
- 「鉄と鋼」「ISIJ International」両誌に掲載された論文等に対する反証、例証等を述べたもの。

投稿した原稿の種類を変更することはできない。編集委員会から原稿種類変更の判断があった場合も、新規に投稿しなければならない。

3. 言語:

全て英語。論文中で一貫していれば、綴りはAmerican

でもBritishでもよい。

4. 単位:

国際単位系（SI）を用いる。但し、SI併用単位は使用できる（別表参照）。

5. 原稿の必要条件:

- 原稿は、既に著作権保護のあるもの、既に公表されたもの、他の出版物に投稿されたものであってはならない。
- 投稿前に必ず論文内容および投稿について著者全員の合意を得なければならない。
- また、投稿規程("Instruction for Authors")と執筆要領("A Guide for Preparation of Manuscript")を遵守していない原稿は、受け付けない。
- 原稿の文書ファイルは、Wordファイルで、① Title page, ② Synopsis, ③ Key words(英語で数語), ④ Text(本文), ⑤ References(文献), ⑥ Appendices(付録。必要な場合), ⑦ Caption List(キャプションリスト), が全てそろっていることを確認してアップロードする。また、図と表のそれぞれの電子ファイルは、Word, tif, jpg, ppt 等適切なファイルでアップロードする。
- 図はそのまま印刷に耐えうる品質を備えていなければならない。
- ページ制限を越える論文等は、原則として審査前に返却され、圧縮を要請される。

6. 投稿手続き:

- 投稿は、下記URLの電子投稿サイトを通じて行う。
<http://mc.manuscriptcentral.com/isijint>
- 電子投稿審査システムを通じた投稿以外は認めない。
- 投稿論文(レビューを除く)にオリジナリティがあること（他誌に掲載済みや掲載予定、投稿中のものではないこと）、投稿論文の著者であること、本誌への投稿を同意すること、本会への著作権譲渡に同意すること、掲載料を支払うこと、を明記した宣言書を著者全員の署名とともに、原稿に添えて提出しなければならない。なお、宣言書1枚に著者全員の署名をまとめる必要はない。

7. 受付後の取り扱い:

原稿は論文誌編集委員会において審査し、掲載の可否を決定する。審査の結果、修正・加筆・削除等を著者に依頼することがある。

8. 原稿の修正:

- 修正依頼を受けた場合、照会事項等に従い原稿を適切に修正した後、必要であれば回答等と共に3週間以内に再提出しなければならない。3ヶ月を超えて再提出された場合、新規投稿としてみなす場合がある。
- 受理日以降の、論文における修正・加筆・削除等は認めない。

9. 受付日と受理日:

- ・原稿が投稿され、原稿にIDが付与された日を受付日とする。
- ・論文誌編集委員会が掲載可と決定した日を受理日とする。

10. 校正:

- ・連絡著者には、論文のPDFゲラを送付する。校正PDFには新しい要素を加えることはできない（印刷上の誤り以外の修正・加筆・削除は原則として認めない）。
- ・校正PDFは、指定された期限前に返却しなければならない。

11. 採択原稿の早期公開

著者が早期公開を希望し、そのために必要な料金を支払う場合は、採択原稿を本誌掲載前にJ-STAGE上で公開することができる。

12. 著作権:

- ・日本鉄鋼協会著作権規程にもとづく。これにより、掲載記事の著作権（日本国著作権法第21条から28条までに規定される全ての権利）は、本会に譲渡される。著作権譲渡は、所定の宣言書に署名することで効果を発し、論文が受理されない場合は無効となる。
- ・アメリカやイギリスなどの政府機関、あるいはそれに類する政府機関の職員が主たる著者であり、職務著作を投稿してきた場合で、本会に著作権を譲渡できないときには、原稿受理後に当該政府機関による利用許諾の証明書を著者が提出する。この場合、6.項における宣言書には、本会への著作権譲渡に同意する代わりに、**Government Work**であることを明記して提出する。

13. 掲載料:

- ・掲載料は、刷り上がり1ページにつき「税抜価格9,300円+税」とする。早期公開の掲載料は、別途定める。著者は、掲載料支払いに同意しなければならない。
- ・期限までに支払わない著者の他の論文審査、投稿受付は、支払われるまで停止する。
- ・著者には、掲載論文のPDFファイルが追加料金なしで提供される。別刷りを希望する場合は、追加料金を支払い、注文することができる。

14. 不正行為および不適切行為の禁止:

- ・投稿に関連して、本会の「論文誌の不正行為および不適切行為の対応規程」に定める不正行為および不適切行為を行ってはならない。
- ・投稿する論文やレビュー等と重複する内容が、刊行物等として、またはインターネット上で公表済みの場合（博士論文のWeb公開を含む）、あるいは今後公表する予定が既にある場合は、それらの内容が確認できる文書ファイルやURL情報等を投稿原稿とともに提出しなければならない。

なお、投稿原稿の全文について、Similarity Checkシステムによる剽窃、二重投稿等のチェックを行う。